

ケアギバー向け冊子

『もっと知ってほしい 大切な人ががんになったとき 血液がん』制作

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン（以下、CNJ）は、血液がんになった患者さんを支えるにあたり科学的根拠に基づいた正しい知識、適切な知識を提供することを目的として、株式会社毎日放送の協力のもと、一般社団法人日本血液学会、一般社団法人日本造血細胞移植学会の後援を受け、冊子『もっと知ってほしい 大切な人ががんになったとき 血液がん』を制作しました。

血液がんという病気は時に長期戦です。その治療の過程は、固形がんとは大きく異なる特徴があります。造血幹細胞移植が必要になった場合には、さらに、血縁関係にも影響を及ぼす治療法であることから、限られた時間の中で、周囲ともじっくりと話し合い、納得の上で選択することが求められます。

『もっと知ってほしい 大切な人ががんになったとき 血液がん』は、広島大学病院 血液内科診療部長 教授の一戸辰夫先生監修のもと、血液がんの基礎知識から造血幹細胞移植、治療のこと、小児がん/AYA世代のがんのことなどについて、患者支援に携わる方々が知っておきたい情報を20ページにまとめています。また、血液がんの患者さんを支えたご家族などの体験談を“Caregivers Voice(体験者の声)”として掲載しています。



この冊子は、CNJのウェブサイトhttps://www.cancernet.jp/caregiver_ketueki ほか、CNJが運営するがん医療情報サイト「キャンサーチャンネル」内ブックレット

www.cancerchannel.jp/posts/category/booklet から無料でダウンロードが可能です。

この「もっと知ってほしいシリーズ冊子」は本冊子を含め全30種となり、全国のがん診療連携拠点病院での設置率も約96.6%¹と、多くの方に利用していただけるようになりました。このシリーズの冊子が、今まさに治療と向き合っている方々の一助となることを願っています。

是非、一人でも多くの血液がんの患者さんを支える方々へこの冊子が届くよう、周知にご協力をいただけましたら幸いです。

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

1991年に、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布したことに始まり、以来、FAX、Eメールによるセカンドオピニオンサービス、NCIPDQの翻訳Web公開（現在は終了）等で標準治療の普及に貢献してきた。2001年にNPO法人化、同年ホームページが日経インターネットアワードを受賞。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がん向き合う人々が、自分らしくがん向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。

¹ キャンサーネットジャパン 2018年 がん診療連携拠点病院アンケート調査より

【冊子に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&Kビル 2F

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073